

職員による自己評価

A環境面

・コロナウイルス感染対策として対面で食事をしない、検温、消毒の徹底を行った。

B児童への支援内容

・虐待防止研修を行い、支援の質の向上を目指した。

・3密を避けるため利用を控えていたご家庭に対して電話やメールで連絡を取り合い、体調など家族の様子を伺った。

C関係機関との連携

・感染予防を配慮し直接会って会議を行うことはできなかったが、電話やメールで情報共有を行った。

D保護者への説明責任・信頼関係

・子どもの様子、支援のことについて逐一情報共有はできている。またコロナウイルス関連の件で随時感染予防についてお知らせをした。

E非常対応

・虐待防止について研修を行った。
・感染予防、災害対策のお知らせを配布した。

保護者による評価

A環境面

・アンケートの結果環境面で不満の声はなかった。

B児童への支援内容

・支援計画に対して不満の声はなかった。
・外部と交流しているのか分からない。

C事業所からの情報発信

・父母会を開催していない。
・支援内容や児童の様子の説明を受けているという回答が多かった。

D非常対応

・コロナウイルスの情報や児童の様子について共有している。

事業所内での分析

【共通点】

・児童への支援やご家族の悩みや相談を聴くことにも力を入れることにより、事業所と家族間での信頼関係は構築できている。
・父母会を開催していないこと。

【相違点】

・ご家族から環境面で不満の声はなかったが、事業所の職員がスペース、職員配置に不満の声があがった。

分析・検討してみたて…

事業所の強み

- ・緊急時の受け入れ体制ができている。
- ・非常時、短期入所での対応も可能。
- ・ご家族の大変な話など聴いて相談しやすい環境を作っている。
- ・災害時の対策として防災用品の備蓄をしている。

事業所の改善点

- ・父母会の開催をしていなかったこと。リモートでも行えるようお伝えしていく。
- ・職員の休憩時間の確保
- ・ドライバーの確保

事業所の改善への取り組み

- ・活動に関する打ち合わせは、児童の様子や特性の理解が日々深まったことで前年度よりスムーズに話を進めることができ、以前より短い時間で取り決めている。
- ・活動内容が固定されないよう日々考えている。
- ・学校の長期休暇等で午前から利用がある日でも職員が交代で休憩できる時間の確保を、活動を工夫することで休憩時間の確保に努めている。
- ・職員の配置改善を図るため運転に慣れていない職員に運転の講習を行い、ドライバーを増やすことで送迎の予定も組みやすいようにする。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

・コロナウィルスの影響で、児童ならびにご家族、職員と多大なストレスを感じながらも、協力し合って乗り越えた1年だった。制限されることが多い中で支援に対して不満の声が上がらなかったのは、顔を合わすことが少なくなった分、連絡を取り合うことが増え信頼関係をさらに深められた結果であると感じた。

事業所名 うれしの

担当者 福山 悟